東北地方整備局　災害現地対策本部

H20.7.18　東北地整　No. 28
災害現地対策本部　活動通信

〔平成20年岩手・宮城内陸地震における河道閉塞（天然ダム）の直轄砂防災害関連緊急事業及び道路の災害復旧支援を迅速かつ円滑に行うため、栗原市役所内に災害現地対策本部を6月20日に設置。〕

【7月17日20時　災害現地対策本部情報】

1. 待機支援車が福島へ帰還

6月24日から、災害現地対策本部が設置されている栗原市役所の構内に「待機支援車」を配置していましたが本日、福島へ戻りました。



▲待機支援者の配置状況

2. 工事実施状況

①浅布地区:　仮排水路被災箇所調査復旧継続
②小川原地区:　仮排水路被災箇所調査復旧継続
③温湯地区:　工事用仮設道路被災箇所調査復旧継続
④湯ノ倉温泉地区:　ポンプ運転継続（16台）　工事用道路造成継続
⑤湯浜地区:　進入路現地調査
⑥沼倉地区:　上流右岸部仮設道路整備〈沼倉〉
　　砂防堰堤袖部保護・転石破砕継続〈沼倉裏沢〉

3. 河道閉塞（天然ダム）の状況についての記者会見

15の河道閉塞（天然ダム）について現状と今後の対策方針について岩手県・宮城県と合同で記者会見を行いました。13社の報道機関による取材を受けました。



▲南河川部長の説明



▲岩手県砂防災害課長の説明

4. 北上川下流河川事務所が「花山地区現地連絡所（花山詰所）」を明日開設

明日、北上川下流河川事務所は、花山地区内（栗原市花山総合支所）に現地連絡所を開設します。本日は島田所長指揮のもと、設置準備を進めました。





▲島田所長が指揮し、「花山地区現地連絡所」の設置準備